

シューベルト22歳、旅先で出会った美しい少女のために書いた詩情溢れるソナタ。

シューマンが23歳の時に書き始め

「君に対するただひとつの心の叫び」と

恋人クララへ捧げた初めての大作ソナタ。

シューマンと出会って間もないブラームスが

20歳の若さで書いた

情熱とロマン溢れる壮大なソナタ。

牛田智大が描く偉大な作曲家たちの

若き日の傑作をお楽しみください。

Franz Schubert

Robert Schumann

Johannes Brahms

うしだともはる

**牛田智大** Tomoharu Ushida, Piano

2018年第10回浜松国際ピアノコンクールにて第2位、併せてワルシャワ市長賞、聴衆賞を受賞。2019年第29回出光音楽賞受賞。

1999年福島県いわき市生まれ。6歳まで上海で育つ。

2012年2月、第16回浜松国際ピアノアカデミー・コンクールにて最年少1位受賞。以降、本格的に演奏活動を始める。

2012年3月、クラシックの日本人ピアニストとして最年少12歳でユニバーサル ミュージックよりCDデビュー。これまでにベスト盤を含む計9枚のCDをリリース。新譜は「ショパン・リサイタル2022」。発売したCDは、2015年以降続けてレコード芸術特選盤に選ばれている。

シュテファン・ヴラダー指揮ウィーン室内管弦楽団(2014年)、ミハイル・プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団(2015年/2018年)、小林研一郎指揮ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団(2016年)、ヤツェク・カスプシク指揮ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団(2018年)各日本公演のソリストを務めるなど、全国各地の演奏会で活躍。その音楽性を高く評価され、2019年5月プレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管モスクワ公演、8月にワルシャワ、10月にはブリュッセルでのリサイタルに招かれた。

今までにNHK総合テレビ「プロフェッショナル仕事の流儀」ほか様々な番組や媒体でその活動が紹介されている。

20歳を記念し2020年8月31日には東京・サントリーホールでソロリサイタルを行い、大成功を収めた。また2022年3月、デビュー10周年を迎えて開催した記念リサイタルは各地で好評を博した。人気実力とも、若手を代表するピアニストの一人として注目を集めている。



© Ariga Terasawa

**最新アルバム! 好評発売中!**

繊細なタッチから紡ぎだされる美しい音色。  
デビュー10周年に贈る珠玉のショパン!

**牛田智大** **レコード芸術誌特選盤**

**ショパン・リサイタル2022**

[CD]UCCY-1115ユニバーサルミュージック ¥3,300(税込)  
ショパン/●幻想曲●バラード第4番●ポロネーズ第6番《英雄》  
●舟歌●ポロネーズ第7番《幻想》●マズルカ第49番《遺作》



**AIR** AIR-G (FM北海道) のクラシック音楽入門ラジオ番組  
「朝クラ!」 (毎週日曜日あさ5:00~6:00放送)  
DJ:高山秀毅 HIDEKI TAKAYAMA